

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【公開番号】特開2002-157115(P2002-157115A)

【公開日】平成14年5月31日(2002.5.31)

【出願番号】特願2000-357619(P2000-357619)

【国際特許分類第7版】

G 0 6 F 9/42

【F I】

G 0 6 F 9/42 3 3 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月8日(2004.10.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の命令を順次実行するデータ処理装置であって、

プログラムカウンタとスタックとレジスタ番号で指定できる複数のレジスタとを有し、

前記スタックは、データの書き込みと読み出しが可能であって、最後に格納された内容から順次読み出しを行うことができるデータ記憶手段であり、

前記データ処理装置は、前記プログラムカウンタで指定されるアドレスに格納された命令を実行し、前記プログラムカウンタの値を更新するものであり、

前記データ処理装置は、前記プログラムカウンタの内容を前記スタックに書き込む第1の命令と、前記複数のレジスタの中の指定されたレジスタの内容を前記スタックに書き込む第2の命令と、前記スタックから読み出した内容を前記プログラムカウンタに書き戻すことができるとともに前記複数のレジスタのうち前記スタックから内容を書き戻すべきレジスタの数とレジスタ番号を指定することができる第3の命令とを実行可能であることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項2】

請求項1記載のデータ処理装置であって、

レジスタ指定手段と算術演算手段を含み、

前記第3の命令は、スタックから順次読み出した複数の内容を、前記レジスタの内、前記第3の命令の命令コード中に指定された情報と前記算術演算手段とによって指定される複数のレジスタに書き込むことを特徴とするデータ処理装置。

【請求項3】

請求項1又は2記載のデータ処理装置であって、

前記データ処理装置は、さらに第4の命令を実行可能であり、

前記第4の命令は、前記複数のレジスタのうち前記スタックから内容を書き戻すべきレジスタの数とレジスタ番号を指定することができ、

前記第3の命令と前記第4の命令は、指定できるレジスタの数の取りうる値が異なることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項4】

請求項1乃至3の何れか1項に記載のデータ処理装置であって、

前記データ処理装置は、さらに第5の命令を実行可能であり、

前記第5の命令は、前記複数のレジスタのうち前記スタックへ内容を待避すべきレジス

タ番号を指定することができる特徴とするデータ処理装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載のデータ処理装置であって、

前記データ処理装置は、さらに復帰命令を実行可能であり、

前記復帰命令は、前記スタックから読み出した内容を前記プログラムカウンタに書き戻す特徴とするデータ処理装置。